

1. 研究課題名

乳房再建術後乳癌患者における乳房全切除術後放射線療法の有効性と安全性に関する
観察研究（多機関共同研究）-日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会班研究-

2. 試料・情報

(1) 利用目的

乳房全切除術および乳房再建術は標準的な乳がん手術方法ですが、再発リスクが高い患者さんには乳房全切除術後放射線療法が実施されることがあります。乳房再建術後の放射線療法は、合併症の増加と整容性の悪化が懸念されますが、まだ十分には検討されていません。この研究の目的は、乳房再建術後に行う放射線療法の有効性と安全性を検討することです。

研究期間は承認日から 2027 年 3 月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2008 年 1 月から 2018 年 12 月の間に、乳房再建術と放射線療法を受けた方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、年齢、身長、体重、既往歴、治療情報、病理検査情報、予後情報などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

本研究は多機関共同研究（研究代表者：関 大仁 所属：杏林大学医学部）であり、当センター（院長 中島淳）は杏林大学医学部（研究代表者：関 大仁）に、診療記録から得られた情報を提供します。その際、個人を識別できる情報は削除いたします。

ただし、当センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報を提供したのか、後からでもわかるように管理をいたします。提供を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター	【乳腺・甲状腺外科】	荻谷 朗子（研究責任者）
滋賀県立総合病院	乳腺外科	辻 和香子
大阪国際がんセンター	乳腺内分泌外科	渡邊 法之
広島大学病院	乳腺外科	笹田 伸介
がん・感染症センター都立駒込病院	形成再建外科	富田 祥一
聖マリアンナ医科大学・川崎市立多摩病院	乳腺・内分泌外科	志茂 彩華
聖路加国際病院	乳腺外科	名倉 直美
東京慈恵会医科大学	乳腺内分泌外科	野木 裕子
岡山大学病院	乳腺・内分泌外科	突沖 貴宏
東京医科大学病院	形成外科	綾部 奈々子